

学歴フィルター（小学館新書）

福島直樹
Fukushima Naoki

学歴フィルター

なぜ一流企業は 「学歴重視」に 回帰したのか

人事担当者「いや、あそこの大学は遠慮します。
毎年会社説明会に来てくれるんですが、
ちょっとね……」(本文より)

リクレーター制度も大復活、大企業の56%が
ターゲット大学を設定し、差別は新入社員研修
でも現れていた!

小学館新書

新たな「学歴差別」の真実

発売日: 2018年6月6日

出版: 小学館

著者: 福島直樹

PDF

新たな「学歴差別」。

<人事担当者「いや、あそのこの大学は遠慮します。毎年会社説明会に来てくれるんですが、ちょっとね……」> (本文より)

新卒採用の会社説明会に一流大学の学生が参加できるのに、偏差値の低い大学の学生だと「満席」を理由に申し込めない 学生を大学名でふるいにかける「学歴フィルター」の存在がたびたび就活生から指摘され、ネットで炎上している。

都市伝説のように語られる「学歴フィルター」は確かに存在する。
20年以上にわたって、就活業界で学生の指導にあたってきた著者がその実態を明らかにする。

主な内容

「学歴フィルター」はこんな場面で使われている！

企業はなぜ「学歴フィルター」を使うのか？

大企業の56%が設定する「ターゲット大学」

リクレーター制度も大復活

そもそも「大学の偏差値」と「優秀な人材」には関係があるのか？

「高学歴は努力の結果」は本当か？

偏差値が低い大学から「学歴フィルター」を乗り越えた学生は何をしたのか？

「学歴フィルター」の具体例を紹介し、その社会的な問題点を指摘、対策も紹介する、初の解説書。

<https://rapidgator.net/file/00b5eb5e4848e5f6c36b235f14dced8a/PDVNQY6L4.pdf.rar.htm>

↓